

2021年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)



2022年2月10日

東

上場会社名 Chatwork株式会社 上場取引所
 コード番号 4448 URL https://go.chatwork.com/ja/

代表者 (役職名) 代表取締役兼社長執行役員CEO (氏名) 山本 正喜

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員CFO (氏名) 井上 直樹 (TEL) 03(6459)0514

定時株主総会開催予定日 2022年3月25日 配当支払開始予定日 —

有価証券報告書提出予定日 2022年3月28日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期の連結業績(2021年1月1日~2021年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期	3,372	—	△688	—	△705	—	△696	—
2020年12月期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2021年12月期 △708百万円(—%) 2020年12月期 —百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年12月期	△18.72	—	△20.9	△13.6	△20.4
2020年12月期	—	—	—	—	—

(参考) 持分法投資損益 2021年12月期 —百万円 2020年12月期 —百万円

(注) 1. 2021年12月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため、記載しておりません。

2. 2021年12月期より連結財務諸表を作成しているため、2020年12月期の数値及び対前期増減率については記載しておりません。また、自己資本当期純利益率及び総資産経常利益率は連結初年度のため、それぞれ期末自己資本及び期末総資産額に基づいて計算しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期	5,168	3,402	64.3	84.35
2020年12月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 2021年12月期 3,325百万円 2020年12月期 —百万円

(注) 2021年12月期より連結財務諸表を作成しているため、2020年12月期の数値は記載しておりません。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年12月期	△475	△840	2,668	3,200
2020年12月期	—	—	—	—

(注) 2021年12月期より連結財務諸表を作成しているため、2020年12月期の数値は記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2021年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2022年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2022年12月期の連結業績予想（2022年1月1日～2022年12月31日）

2022年12月期の業績予想におきましては、競合・市場環境に対応し、機動的な投資判断が必要との観点から、具体的な金額予想は開示しない方針とさせていただきます。なお、当期につきましても、Chatworkセグメントの売上高成長を引き続き最重要の経営目標としつつ、Chatworkセグメントの売上高で前連結会計年度比40%以上、全体売上高では前連結会計年度比35%以上の成長を目標としております。詳細は添付資料P. 3「1. 経営成績の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期	39,425,840株	2020年12月期	36,880,640株
② 期末自己株式数	2021年12月期	877株	2020年12月期	41株
③ 期中平均株式数	2021年12月期	37,179,943株	2020年12月期	36,650,081株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年12月期の個別業績（2021年1月1日～2021年12月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期	3,193	31.7	△634	—	△651	—	△656	—
2020年12月期	2,424	33.6	327	321.1	324	421.2	208	239.0
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年12月期	△17.67		—					
2020年12月期	5.68		5.23					

(注) 2021年12月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため、記載していません。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期	5,048	3,364	66.7	85.35
2020年12月期	2,535	1,790	70.6	48.54

(参考) 自己資本 2021年12月期 3,364百万円 2020年12月期 1,790百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についての注意)

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

2. 2021年10月20日に開示いたしました「事業計画及び成長可能性に関する事項」では、次回開示予定を2022年2月の通期決算開示日としていましたが、2022年3月に開示を行う予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報等)	10
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度において、継続的な事業成長の実現に向け、引き続き新規顧客獲得に向けた営業活動の強化、広告・マーケティング活動の強化、既存サービスの機能強化に積極的に取り組んでまいりました。また、当社の長期ビジョンであるビジネス版スーパーアプリの実現に向けたサービス拡張を目的として、Chatworkストレージテクノロジー株式会社を連結子会社化しました。この結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高は3,372,285千円、営業損失は688,084千円、経常損失は705,114千円、親会社株主に帰属する当期純損失は696,188千円となりました。なお、先行投資として、採用が順調に進んでいることや、広告・マーケティング活動のさらなる加速により、営業利益以下の各段階利益がマイナスとなっております。

セグメント別の経営成績は次の通りです。

①Chatworkセグメント

Chatworkセグメントは、引き続き主力サービスである「Chatwork」の利点を訴求し、新たな機能追加と顧客の開拓に努めました。以上の結果、売上高は3,153,280千円、セグメント損失は734,479千円となりました。

なお、当セグメントが当社の主力事業であり、本社機能も含めて各間接費の全てが当セグメントの維持・拡大のために費やされていることから、間接費の全額を当セグメントにおける費用として計上しております。

②セキュリティセグメント

セキュリティセグメントについては、引き続き当社としては積極的な事業拡大は行わない方針としております。その結果、売上高は219,005千円、セグメント利益は46,394千円となりました。

なお、当セグメントのセグメント利益については、前述のとおり間接費を全てChatworkセグメントにて計上していることから、当セグメントの売上高より当セグメントに要した広告宣伝費、販売促進費及び業務委託費等の直接経費のみを控除した金額を計上しております。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における総資産は、5,168,034千円となりました。その主な内訳は、現金及び預金3,200,053千円、前払費用446,392千円、のれん318,894千円であります。

(負債)

当連結会計年度末における負債は、1,765,072千円となりました。その主な内訳は、前受金649,262千円、未払金447,048千円、長期借入金365,500千円であります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は、3,402,962千円となりました。その主な内訳は、資本金2,525,611千円、資本剰余金2,511,471千円であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、3,200,053千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは475,251千円の支出となりました。これは主に、税金等調整前当期純損失704,476千円の計上、前受金が318,186千円増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、840,207千円の支出となりました。これは主に、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出453,900千円、無形固定資産の取得による支出304,681千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、2,668,039千円の収入となりました。これは主に、株式の発行による収入

2,162,087千円、長期借入れによる収入510,000千円によるものであります。

(4) 今後の見通し

2022年12月期におきましては、前連結会計年度に引き続きChatworkセグメントの売上高成長率の向上を第一優先とすることが当社の企業価値向上にとって最優先であると考えております。上記の考え方にに基づき、売上高につきましては、Chatworkセグメントで前連結会計年度比40%以上、セキュリティ事業は市場環境により前連結会計年度比微減を想定し、全体売上高で前連結会計年度比35%以上の成長を目標にしております。

また、当社サービス「Chatwork」における販売体制強化、及びプラットフォーム化の展開を加速し、継続的な機能追加による「Chatwork」の付加価値向上を行い、全社としての成長を更に加速したいと考えております。なお、営業利益以下の各段階利益については競合・市場環境に対応し、機動的な投資判断が必要との観点から、具体的な金額の予想は開示しておりません。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、企業間の比較可能性を考慮し、会計基準につきましては日本基準を適用しております。なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

		当連結会計年度 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金		3,200,053
売掛金		312,115
貯蔵品		6,316
前払費用		446,392
貸倒引当金		△411
その他		69,225
流動資産合計		4,033,692
固定資産		
有形固定資産		
建物		54,472
減価償却累計額		△21,321
建物(純額)		33,151
工具、器具及び備品		69,307
減価償却累計額		△57,044
工具、器具及び備品(純額)		12,262
有形固定資産合計		45,414
無形固定資産		
ソフトウェア		181,898
ソフトウェア仮勘定		290,233
のれん		318,894
顧客関連資産		115,673
電話加入権		69
無形固定資産合計		906,769
投資その他の資産		
投資有価証券		66,078
敷金及び保証金		78,262
長期前払費用		37,817
投資その他の資産合計		182,158
固定資産合計		1,134,342
資産合計		5,168,034

(単位：千円)

当連結会計年度
(2021年12月31日)

負債の部	
流動負債	
未払金	447,048
未払費用	93,002
未払法人税等	23,276
前受金	649,262
1年内返済予定の長期借入金	102,000
その他	46,138
流動負債合計	1,360,728
固定負債	
長期借入金	365,500
繰延税金負債	38,843
固定負債合計	404,343
負債合計	1,765,072
純資産の部	
株主資本	
資本金	2,525,611
資本剰余金	2,511,471
利益剰余金	△1,711,645
自己株式	△42
株主資本合計	3,325,394
非支配株主持分	77,567
純資産合計	3,402,962
負債純資産合計	5,168,034

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
売上高	3,372,285
売上原価	993,543
売上総利益	2,378,741
販売費及び一般管理費	3,066,826
営業損失(△)	△688,084
営業外収益	
受取利息	16
為替差益	1,419
雑収入	277
営業外収益合計	1,713
営業外費用	
株式交付費	15,447
支払利息	2,097
投資事業組合運用損	543
雑損失	655
営業外費用合計	18,743
経常損失(△)	△705,114
特別利益	
固定資産売却益	638
特別利益合計	638
税金等調整前当期純損失(△)	△704,476
法人税、住民税及び事業税	5,971
法人税等調整額	△2,044
法人税等合計	3,927
当期純損失(△)	△708,403
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△12,215
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△696,188

連結包括利益計算書

	(単位：千円)
	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
当期純損失 (△)	△708,403
その他の包括利益	
包括利益	△708,403
(内訳)	
親会社株主に係る包括利益	△696,188
非支配株主に係る包括利益	△12,215

(3) 連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,409,930	1,395,790	△1,015,456	△42	1,790,222
当期変動額					
新株の発行	1,115,680	1,115,680			2,231,360
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△696,188		△696,188
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	1,115,680	1,115,680	△696,188	—	1,535,172
当期末残高	2,525,611	2,511,471	△1,711,645	△42	3,325,394

	非支配株主持分	純資産合計
当期首残高	—	1,790,222
当期変動額		
新株の発行		2,231,360
親会社株主に帰属する当期純損失(△)		△696,188
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	77,567	77,567
当期変動額合計	77,567	1,612,740
当期末残高	77,567	3,402,962

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)	
当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前当期純損失 (△)	△704,476
減価償却費	92,867
のれん償却額	16,783
株式報酬費用	27,719
敷金および保証金償却	7,432
株式交付費	15,447
投資事業組合運用損益 (△は益)	543
固定資産売却損益 (△は益)	△638
為替差損益 (△は益)	△185
受取利息	△16
支払利息	2,097
売上債権の増減額 (△は増加)	△114,351
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	411
前払費用の増減額 (△は増加)	△307,613
たな卸資産の増減額 (△は増加)	549
預け金の増減額 (△は増加)	△15,852
未払金の増減額 (△は減少)	285,600
未払費用の増減額 (△は減少)	△18,105
未払法人税等の増減額 (△は減少)	△15
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△51,987
前受金の増減額 (△は減少)	318,186
その他	6,882
小計	△438,718
利息の受取額	16
利息の支払額	△2,097
法人税等の支払額	△34,451
営業活動によるキャッシュ・フロー	△475,251
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△4,626
有形固定資産の売却による収入	977
無形固定資産の取得による支出	△304,681
投資有価証券の取得による支出	△54,800
敷金及び保証金の差入による支出	△23,306
敷金及び保証金の回収による収入	129
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△453,900
投資活動によるキャッシュ・フロー	△840,207
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	510,000
長期借入金の返済による支出	△42,500
株式の発行による収入	2,162,087
新株発行による支出	△15,447
非支配株主からの払込みによる収入	53,900
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,668,039
現金及び現金同等物に係る換算差額	185
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,352,765
現金及び現金同等物の期首残高	1,847,288
現金及び現金同等物の期末残高	3,200,053

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、「Chatworkセグメント」と「セキュリティセグメント」の2つを報告セグメントとしております。

なお、当第3四半期連結会計期間より、Chatworkストレージテクノロジーズ株式会社の株式を取得し連結子会社化としたことに伴い事業セグメントの整理を行い、従来「Chatwork事業」、「セキュリティ事業」としていた報告セグメント名称を、「Chatworkセグメント」、「セキュリティセグメント」に変更しております。当該変更は報告セグメントの名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計基準に準拠した方法であります。報告セグメントの利益又は損失は、連結財務諸表の営業損失と調整を行っております。なお、セグメント間の内部取引は発生しておりません。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

当連結会計年度(自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	Chatworkセグメント	セキュリティセグメント	計	
売上高				
外部顧客への売上高	3,153,280	219,005	3,372,285	3,372,285
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	3,153,280	219,005	3,372,285	3,372,285
セグメント利益又は損失(△)	△734,479	46,394	△688,084	△688,084
その他の項目				
減価償却費	92,867	—	92,867	92,867

(注)セグメント資産については、事業セグメントに資産を配分していないため記載しておりません。

(1株当たり情報)

	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
1株あたり純資産額	84.35円
1株あたり当期純損失(△)	△18.72円
潜在株式調整後 1株あたり当期純利益	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株あたり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株あたり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 1株あたり純資産額の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	当連結会計年度 (2021年12月31日)
純資産の部の合計額(千円)	3,402,962
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	77,567
(うち非支配株主持分(千円))	77,567
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	3,325,394
1株あたり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の 数(株)	39,424,963

3. 1株あたり当期純利益の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	当事業年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
1株あたり当期純損失(△)	
親会社株主に帰属する当期純損失 (△)(千円)	△696,188
普通株主に帰属しない金額(千円)	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純損失(△)(千円)	△696,188
普通株式の期中平均株式数(株)	37,179,943
潜在株式調整後1株あたり当期純利益	
当期純利益調整額(千円)	—
普通株式増加数(株)	—
希薄化効果を有しないため、潜在株式調 整前1株あたり当期純利益金額の算定に 含まれなかった潜在株式の概要	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。